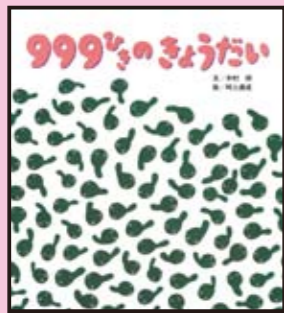


負け知らずの「999シリーズ」！



【1作目】

おはなしチャイルド
1988年度4月号
【編集担当】岡本富士雄

999個のかえるの卵からおたまじゃくしが生まれました。ところがいつまでたってもかえらない卵がひとつ。さて…



【3作目】

おはなしチャイルド
2009年度4月号
【編集担当】伊藤 聡

冬眠から目覚めたばかりの999匹のかえるのきょうだい。お寝坊さんを起こしに、春の野原へ出かけますが…？



【2作目】

おはなしチャイルド
2003年度6月号
【編集担当】浅野久美子

住んでいた池が狭くなったので、広い池を探して、かえるの大家族がお引っ越し。へびに出会ったり、とんびにさらわれたり…？



【4作目】

おはなしチャイルド
2013年度4月号
【編集担当】加藤暢穂

一番小さなおたまじゃくしは、成長が遅くて、なかなか池の外に出られません。ある日、「おにいちゃん」と呼ぶ声が出て…

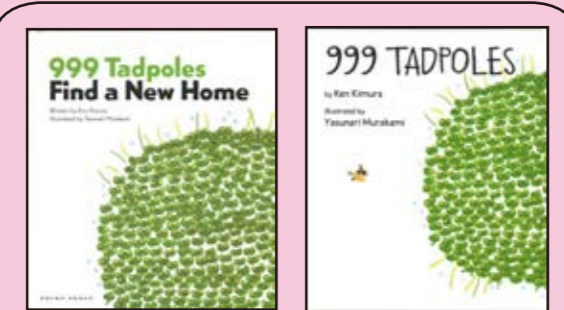
世界で愛される「999シリーズ」！



ドイツ児童文学賞ノミネート&「金の本の虫賞」受賞作
ドイツ語版 (Nord Süd 社)



フランス語版



ニュージーランド版 英語版 アメリカ版



中国語版 韓国語版

世界も認めた『999ひきのきょうだいおひっこし』！

ドイツ児童文学賞とは…

ドイツ政府によって制定された唯一の国定の賞で、57年もの歴史を持つ、ドイツで最も権威ある文学賞。ドイツ語で出版される本は、年間8000冊。その中から絵本、児童書、ヤングアダルト、ノンフィクション、青少年審査委員賞の5部門に各6冊が、ノミネート。春のライプチヒのブックフェアでノミネートが発表され、秋のフランクフルトで大賞が表彰されます。



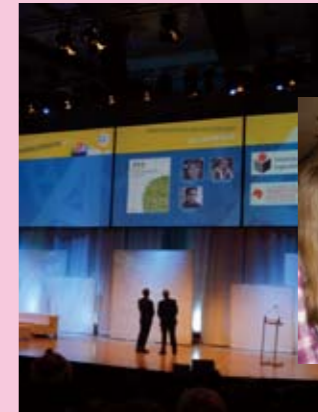
絵本部門候補作



賞状とともに展示



ノルドズッド社の社長と



惜しくも大賞ならず！



授賞式後、審査員の子どもと

祝

金の本の虫賞 (Goldener Bücherwurm) とは…

毎年、Kinder-Akademie Fulda (7歳~21歳の若者たちで構成された審査委員会)によって授与される賞。ドイツ児童文学賞のノミネート作品の中から、各部門ごとに、子供審査委員会によって大賞を決める、子どものために子どもたち自身が選ぶ本の賞。

15 Jahre „Goldener Bücherwurm als Lesetipp“ - Festakt in der Kinder-Akademie



「金の本の虫」賞受賞のニュース

